

※文章に文法及び日本語の誤りなどがございましたら、どうか許してあげて下さい。

※この意見はあくまでニュースからほんの個人的な意見です、台湾全体や政府の意見ではありません。

備註：本件為個人聲明，並不代表台灣全體民眾意見或立場。

最新日本のニュース LINK

[「漁師殺害」と台湾 フィリピンに制裁発動](#)
[台湾がフィリピンに渡航自粛など発動 漁船銃撃で](#)
[台湾 漁船銃撃で比にさらなる制裁措置](#)

[台湾の反応ブログ](#)

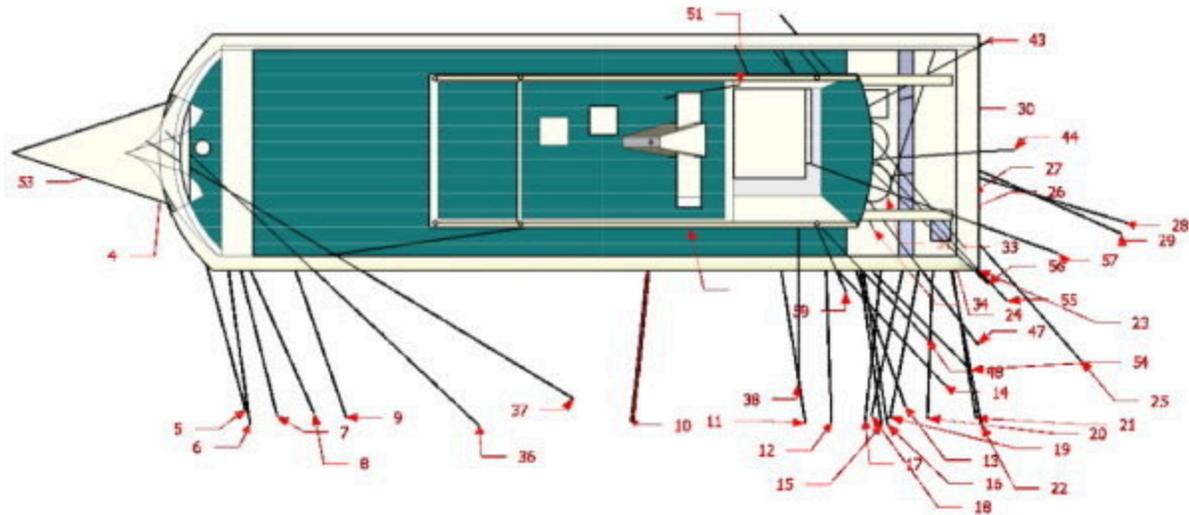
今回の台湾漁船銃撃事件について、日本には本当の事実が伝えられていないのがびっくりしました。どうして台湾にはそんなに怒ることについて話したいと思います。針對這次台灣漁船槍擊事件，令人驚訝的是日本沒有報導真實的情況，特此說明為什麼這次台灣會如此氣憤。

まず一つは、フィリピン沿岸警備隊は無防備の一般市民に対して軍が機関銃を乱射していること、実際その小さい漁船には59発の弾痕があった（それは実際発砲しているの数は59発以上になっている）（詳しいは

<http://www.ettoday.net/news/20130516/208374.htm>）、しかも、船にいる人の話は警告なしで機関銃を射撃すること。それは事故とは言えないでしょう。

首先第一點針對菲律賓的海岸巡防隊對於手無寸鐵的一般市民用機關槍掃射一事，事實上對該漁船所造成的59發彈痕（實際上開槍的次數應該超過59發以上），並且也沒有事先警告船上的人便直接開槍射擊來說，根本無法稱上是意外事故。

廣大興28號漁船遭射擊方向俯視示意圖



漁船は逃げるのに精一杯だし、もちろん医者はいない。どうする事もできずに逃げるだけでした。もちろん、漁船の排他的経済水域（EEZ）の暫定取り締まりラインを越えていない（しかも、フィリピンの領海じゃない）。

漁船光要逃命就已經竭盡全力了，當然也沒有醫生在船上，因此無能為力只能選擇逃命。更不要說漁船沒有超越經濟海域暫定執法線（況且並非菲律賓之領海）。

なので、台湾政府はフィリピンに「正式謝罪と賠償、徹底的に事実を調べるそうして関係者への処罰、台比間の漁業協議着手を求め」について72時間以内に回答することが要求しています。

因此台灣政府要求於72小時內回應，以下要求菲律賓「正式道歉、賠償損失、儘速徹查事實嚴懲凶手，及儘速啟動台菲漁業協議談判」

次は二つ、フィリピン側最初に会見でヘラヘラ笑いながら（詳しいは

<http://www.ettoday.net/news/20130511/206090.htm>）「謝罪なんでしない」と言い

放ったり、それ以外、台湾政府から72時間以内に謝罪しないって話だったけど、記者

会見はその2.3時間後の午前2時です。そこまで待たせるなんて、それは怒ることになるのでしょうか。(待たせる理由は<http://udn.com/NEWS/NATIONAL/NATS2/7898806.shtml>)
接著第二點是在菲律賓的記者會場，竟然看到發言人嘻皮笑臉的畫面（詳如<http://www.ettoday.net/news/20130511/206090.htm>）並訴說著他們不道歉，除此之外在臺灣政府要求的72小時以內道歉一事，也拖延2、3小時在凌晨2時才召開，竟讓人等候回應如此之久，怎能讓人不生氣？(久候之原因<http://udn.com/NEWS/NATIONAL/NATS2/7898806.shtml>)

さらに三つは、最初は「マニラ経済文化事務所」のアントニオ・バシリオ代表は謝罪について、フィリピン政府側に正式に委任されていなかった。その日の午後はフィリピン側は大統領個人 (**personal representative**) が委任されていることを声明した。その後「個人に対しては謝るが台湾政府には謝らない」などと台湾政府を認めないような発言をしたり。（詳しいは<http://www.ettoday.net/news/20130515/208347.htm>）しかも、謝罪する前にそれは事故と何度も強調しています。
此外第三點是「馬尼拉經濟文化辦事處」的代表Amadeo Perez首先並沒有正式被菲律賓政府正式授權。當日下午菲律賓才發表聲明表示授權其為總統個人代表 (**personal representative**)。在那之後發表了「雖然對於去世的人感到抱歉但不會對台灣政府道歉」等，台灣政府不能認同之言論，甚至道歉之前不斷強調這是意外事件。

しかも、フィリピン側の記者会見で一番触れいけないの台湾と中国大陸の話を言い出します。特に一つの中国政策を強調しています。実際は、(何かの理由は分からないが)台湾マスコミは取材許可証が持ってないから、フィリピン大統領の記者会見に入れない事について、現場に記者(中国)がいるからそんなことはないと反論しました。
尤其菲律賓於記者會中故意觸及台灣和中國大陸之間的問題。其中還特別強調其之一中政策立場。實際上(雖然不知理由為何)於菲律賓總統府所召開之記者會台灣媒體因未持有記者證而不得其門而入一事，菲律賓以現場有中國籍記者反駁，表示未有不讓台灣媒體參與此事。

そして最後は、一番怒ることは、特に関係者への処罰についてにフィリピン側は何も言えなかったことです。もう一つは、賠償額について、フィリピン側は慰謝料(しかも、民間からの献金)にか支払わないと主張しています。
最後讓人盛怒的是，對於嚴懲兇手一事，菲律賓方面並無任何說明。另一方面關於賠償金部分，菲律賓則主張僅支付慰問金(甚至這個慰問金是來自民間的捐款)。

それは人が犯罪起こしでも、そこまで傷付けられことはないのでしょうか。もし法治国家

なら、法律の審判に従って、その法というルールを守るべきだ。
即便是人犯了法，也不應傷害至此，如果是法治的國家，應該遵循法律的審判。

それに対して、フィリピン側はその法律を無視し、何も罪のない漁船に対しての攻撃であり、さらに漁師の命を奪うこと。
針對這個部份，菲律賓方面無視法律，針對無辜的漁船進行攻擊，甚而奪取人命。

(排他的經濟水域 (EEZ) の問題を先に置いて) 台湾側に一番怒るのはフィリピンが措置方法がやり過ぎると、それに対して最初の謝罪しない、賠償もしないことです。

(先不論是否專屬經濟海域) 台湾方面氣憤的是菲國處置過當，並且為此不願道歉以及賠償。

そんなの「いじめ」を受けることに台湾側について、フィリピン側の軽率の態度とごまかした回答を受け入れることはできない、いや、それはフィリピン側のやり方は人にとって認められないと思います。

無論菲律賓輕佻的態度，或者虛應故事的回答，對於台灣受到如此的欺侮，讓人無法接受。不、菲律賓的做法是身為人都不能諒解的。

2013. 5. 17 from Taiwan